

9月13日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

常任委員会報告

総務常任委員会（9月14日）

質問 議案第35号小城市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について、消防団員の定数の変更が交付税に影響しないか。

答弁 収入として普通交付税の額に影響はないが、特別交付税が算定上約370万円減るが、条例定数の見直しで支出として負担金が約385万円減額になる。

質問 議案第48号令和4年度小城市一般会計補正予算（第6号）の（歳入）地方交付税について、普通交付税が71億から68億と落ち込んでいる。国の財政計画で示された前年度103・5%を参考にしたとのことだが、減額はよくあることか。

答弁 これほどの減額は今までなかった。個別の算定経費の中で減っている分を当初予算で見込めていなかった。

質問 （歳入）繰入金について、財政調整基金繰入金の補正は普通交付税の減額が理由か。

答弁 普通交付税の減額に伴う財源調整になる。

質問 （歳出）総務費（仮称）小城フットボールセンター整備事業について検査費が200万円とのことだが、検査はだれがするか。

答弁 日本サッカー協会の関連団体になる。

質問 議案第54号工事請負契約の変更（令和3年度（仮称）小城フットボールセンター整備事業造成工事）について、人工芝の敷設等の整備、クラブハウスの建築工事、照明の電気工事という業種の違う重複した工事となっていくが対策は。

答弁 連携を取って工事を進める。



▲（仮称）小城フットボールセンター造成工事現地調査

文教厚生常任委員会（9月15日）

質問 議案第36号小城市健康スポーツセンター条例について、第10条の使用料の減免については、どのようなことを想定しているのか。

答弁 たとえば市の事業である健診事業、社会福祉及び保健関係団体がその目的のために利用するとき、あるいは、その他市長が特に認める時ということで、たとえば、小城市ボランティア協会加盟の事業とか、育成会事業、子育て支援事業、あるいは、公民館共催関連事業、文化連盟加入団体の事業、小城市スポーツ協会加盟団体の事業、佐賀県主催事業等を減免の対象としている。

質問 議案第39号小城市フットボールセンター条例について、施設の予約の受付はどうなっているのか。また、県内有数のグラウンドができると思うが、受付の際、週末の複数の日を一度に受付可能な規則を定めるのか。

答弁 施設の予約等については、規則の方で定めていくことと考えているが、生涯学習課が所管する体育施設、体育館とかグラウンドと整合をあわせて申請の期間を定めていきたい。また、市とか、市に類似するような団体が行う場合は、年度前に調整会議のようなものを実施し、あらかじめ抑えている。その後、空いているところに受け付けをしていく形になるが、規則でまだ決定していないが、今まで行ってきたように利用される団体同士で調整できればと考えている。

質問 議案第48号令和4年度小城市一般会計補正予算（第6号）のうち、歳出3款民生費 1項社会福祉費 1目社会福祉総務費の生活困窮者対策事業で地域のNPO法人等に対する活動支援が、NPO法人等とは何か。たとえば放課後ティサービス等を実施されている企業とかは対象となるのか。また、補助金額が1団体当たり50万円を上限とあるが、今回、何団体を想定しているのか。

答弁 NPO法人等と示しているのは、法人格がある、ないに関わらず補助金を交付することで考えている。また、企業であっても要件を満たすようであれば、市内に事業所を設けている事業団体に補助したいと考えている。今回の予算計上は10団体程度を想定している。

質問 議案第52号令和4年度小城市病院事業会計補正予算（第1号）について、有形固定資産購入費で麻酔器と超音波画像診断装置の購入ということだが、超音波画像診断装置の身体的部位はどこなのか。また購入価格はいくらなのか。新公立病院での使用予定は。

答弁 超音波画像診断装置については、婦人科の下半身の方のエコーのことで、金額は約500万円、600万円、麻酔器については約300万円を計上している。婦人科のエコーについては、特に多久にはないため、持っていく予定だ。

産業建設常任委員会（9月16日）

質問 新規就農者支援事業について、申請していたものが認可されて、補正予算の計上となったのか。

答弁 4月以降に本人から相談があり、県に相談したの計上となった。

質問 観光施設管理事業について、老朽化した看板の改修、撤去は何箇所か。

答弁 芦刈のムツゴロウ広告塔は町分、住ノ江が撤去、牛王が改修の3ヶ所、小城の清水の駐車場の看板は改修が1ヶ所、牛津の石工の里の看板の改修が1ヶ所と計5ヶ所になる。

質問 国スポもあるのですが、芦刈の広告塔は、案内がしやすいよう撤去せずとも立派なものを建ててはどうか。

答弁 現在、設置から33年経過しており、上から物が落ちたり、下のコンクリートが割れて川の方に少し傾いているという実態があるので、まずは撤去が先決かと認識している。

質問 芦刈の広告塔の撤去は区長に説明をしているか。

答弁 説明はしていないが、撤去に向けたお知らせを行っている。



▲撤去される「ムツゴロウ広告塔」